

ボランティアフェスティバル (10月4日)

第24回ボランティアフェスティバルが「今こそつなごう 心の絆 ボランティアの輪」をテーマに、北部シルバーエリアで開かれ、たくさんの市民でにぎわいました。

今回は約70団体が参加。手話・点字体験、介助犬との触れ合いコーナー、ものづくり体験など多彩な催しを展開して、訪れた多くの来場者に福祉活動の大切さをアピールしていました。



押し花の制作を楽しみました



大人気だったミニSL

本場大館きりたんぼまつり (10月8、9日)

本場大館きりたんぼまつりが長木川市民広場で開かれ、たくさんの市民や観光客が新米のきりたんぼの味を堪能しました。

恒例の「たんぼ干本焼き」に加え、今年には市制施行60周年と八チ公生誕88周年にちなんだジャンボたんぼづくり(88粒)の串に、700粒のご飯で60粒のたんぼにしたものも実施。挑戦した家族連れは大きさと重さに驚きながらも、美味しそうにできあがったたんぼに満足そうな笑顔をみせていました。



すごく重いな～

秋の五色湖を満喫 (10月9日)

第20回五色湖まつりが山瀬ダム多目的運動広場で開かれ、たくさんの家族連れでにぎわいました。

好天に恵まれた会場では、ミニSLやニジマスのつかみ取りのイベントが催され、参加した子どもたちは笑顔いっぱい楽しんでいました。また、会場ではきりたんぼも振る舞われ、来場者は赤や黄色に色付き始めた山々を眺めながら、五色湖に訪れた秋を満喫していました。

忠犬八チ公生誕祭 (10月9日)

大館生まれの秋田犬・忠犬八チ公の生誕祭が、JR大館駅前八チ公広場で行われました。

今年には八チ公生誕から88周年となることから、記念祭として開催。献花やケーキカットのほか、米寿を迎えた市民の代表によるタスキ掛けや銅像周辺の花壇への記念植樹が行われました。最後は上川沿小学校4・5・6年の児童が唱歌「忠犬八チ公」を合唱し、生誕を祝いました。

八チ公銅像に記念のタスキを掛けました



秋の味覚が盛りだくさん (10月17日)

おおだて秋の市日まつりが柳町児童公園で開かれ、多くの市民が秋の味覚を求めて訪れました。

この市日は、毎月7の付く日に開催されていて、まつりは春と秋の年2回行われています。公園には約60店の露店が並び、リンゴやナシなどの果物、マイタケやなめこなどのキノコ類が所狭しと並べられました。あいにくの雨天となりましたが、早朝から足を運んだ来場者は、品物を手に取りながら熱心に品定めをして、待ちに待った「秋」を買い求めていました。

秋の味覚を求め、会場はにぎわいました

